

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	精神機能の自己制御理解にもとづく思春期の人間形成支援学
領域代表者	笠井 清登（東京大学・医学部附属病院・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、思春期における自我の成熟や人間の精神機能の自己制御性をテーマとして、学際的な「自己制御学」「思春期学」の拠点を創成する意欲的な研究テーマである。人文社会学と脳神経科学の融合的な領域としてチャレンジングであり、関連領域の研究の発展を促すことができるものと期待される。対象を思春期の問題に特化することによって、研究の目的と期待される成果が明確になっている。人間行動・心理学的アプローチと脳科学的アプローチによる仮説と実証をうまく連携させている、よく練られた計画であり、5年後の研究成果と社会的な貢献も期待される。</p>